

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200540		
法人名	特定非営利活動法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけぐーと1F		
所在地	岩国市周東町下久原407番		
自己評価作成日	平成23年7月27日	評価結果市町受理日	平成24年4月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆっくり・一緒に・楽しくをモットーに利用者さん一人一人に合わせた支援を心がけています。認知症を疾患として正確に捉えた上でその人にとってあたり前の生活が出来るよう、お手伝いさせていただいています。介護する人、される人の関係でなく一緒に生活する人としての気配り、目配り、心配り、思いやりを胸に穏やかな笑顔で関わっていきます。職員の質の向上を目指し院内、外部研修への参加、主任会議、スタッフミーティング、ケアプラン会議の実施、資格取得には他職員の協力もあり職員一丸となり取り組んでいます。プリセプター方式を取り入れ人材育成にも力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理事長、管理者はより良いケアを目指して、年間を通した研修計画の実施で職員のスキルアップを図り、新人教育育成ではプリセプター方式を取り入れるなど職員を育てる取り組みに工夫されています。利用者が地域で暮らし続けるための基盤づくりを積み重ねながら、認知症の相談対応、教室の開催、ボランティアの養成等事業所の力を活かして地域貢献に取り組んでおられます。利用者がその人らしく暮らせるよう、センター方式を活用したケアマネジメントに取り組み、ゆっくり、一緒に、楽しくをモットーに利用者一人ひとりを見つめた支援に取り組まれています。運営推進会議で防災、避難訓練への参加を呼びかけ、地域と一緒に避難訓練を行うなど地域との協力体制を築いておられます。ヒアリング報告書や事故報告書の分析をもとに、事業所独自の事故防止マニュアルを作成され、急変や事故発生に備えて、一人ひとりの状況に応じた事故防止に取り組むとともに、研修や訓練を実施して職員は実践力を身につけておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3577200540		
法人名	特定非営利活動法人 ありがとさん		
事業所名	グループホーム だんけぐーと2F		
所在地	岩国市周東町下久原407番		
自己評価作成日	平成23年7月27日	評価結果市町受理日	平成24年4月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“ゆっくり・一緒に・楽しく”をモットーに、利用者さん一人一人に合わせた支援を心がけています。認知症を疾患として正確に捉えた上で、その人にとってあたり前の生活が出来るように、お手伝いさせて頂いています。介護する人、される人の関係ではなく、一緒に生活している人として、目配り、気配り、心配り、そして思いやりに胸に、穏かな笑顔で関わっていきます。様々なアイデアを出し合い、楽しいイベントなどを考えています。スタッフの育成では、プリセプター方式の導入、年間のテーマを決めて取り組む院内研修や、外部研修にも参加させて頂いています。また、個人でも年間目標を決めて、資格取得などにも取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理事長、管理者はより良いケアを目指して、年間を通した研修計画の実施で職員のスキルアップを図り、新人教育育成ではプリセプター方式を取り入れるなど職員を育てる取り組みに工夫されています。利用者が地域で暮らし続けるための基盤づくりを積み重ねながら、認知症の相談対応、教室の開催、ボランティアの養成等事業所の力を活かして地域貢献に取り組んでおられます。利用者がその人らしく暮らせるよう、センター方式を活用したケアマネジメントに取り組み、ゆっくり、一緒に、楽しくをモットーに利用者一人ひとりを見つめた支援に取り組まれています。運営推進会議で防災、避難訓練への参加を呼びかけ、地域と一緒に避難訓練を行うなど地域との協力体制を築いておられます。ヒアリング報告書や事故報告書の分析をもとに、事業所独自の事故防止マニュアルを作成され、急変や事故発生に備えて、一人ひとりの状況に応じた事故防止に取り組むとともに、研修や訓練を実施して職員は実践力を身につけておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1 1F	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の一つとして「私たちは今もっている力で地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします」と掲げています。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所独自の理念をつくり、理事長、管理者、職員は理念をミーティングや研修で話し合い、共有して、ケアの実践につなげている。	
1 2F	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは、今持っている力で、地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします」と掲げており、施設内研修などで理念を再確認し、共有している。		
2 1F	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者さんとスタッフで作成したお守りをグループホームとして交通安全週間に警察署に贈呈しています。地域の方が畑ボランティアで来てくださり、じゃが芋やさつま芋を植えてくださいました。	文化祭や祭り、清掃作業などの地域行事への参加、散歩や買い物時に地域の人と会話するなど地域の一員として日常的に交流している。地域のボランティアと一緒に野菜づくりをしたり、納涼祭で手作りのおみやげを配ったり、交通安全週間では利用者と職員で作ったマスコット人形を贈呈するなど、交流している。	
2 2F	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方と一緒に、畑作り(じゃが芋、さつま芋)をし、収穫した。また、秋の外出イベントの際、付き添い・お手伝いをして頂いた。		
3 1F		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回、法人で開催される地域交流会で、地域の方々に役立つような介護教室、健康体操、ボランティア養成講座を実施しています。		
3 2F		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回、法人で開催される地域交流会で、地域の方々に役立つような介護教室、健康体操、ボランティア養成講座を実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	研修などに参加し理解しています。自己評価も全職員の意見を取り入れています。結果で見えてきた改善点も職員全員で話し合い見直しに取り組んでいます。地域運営推進会議に参加し改めて理解しました。	運営者、管理者、職員は評価の意義を理解し、自己評価は全職員で取組んでいる。評価結果や評価によって見えてきた改善点や課題について運営推進会議やミーティングで話し合い、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	地域運営推進会議等の研修に参加し、理解している。自己評価も全員の意見を取り入れている。評価によって見えた改善点も見直しを行い、職員の意識を合わせて積極的に取り組んでいる。		
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの近況報告、ケース発表、要望や意見交換などを行っています。避難や緊急時通報システムなど、地域防災についても話し合っています。実際に避難訓練にも一緒に参加して頂き、気付きなどの意見交換を行いました。	自治会長、民生委員、消防団員、地域包括センター職員、第三者委員、地域代表、家族(4名)、理事長、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。利用者やサービスの状況報告や意見交換を行っている。運営推進会議メンバーと一緒に避難訓練を実施し、意見をサービスの向上に活かしている。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの近況報告、ケース発表、要望や意見交換などを行っている。避難や緊急時通報システムなど、地域防災についても話し合っている。また、実際避難訓練にも一緒に参加して頂き、気付きなどの意見交換を行った。		
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町の担当者と連絡をとり相談、助言をいただきながらサービスの質の向上に努めています。包括支援センターの職員さんが運営推進会議に参加され相談、助言をさせていただきます。	市担当者と日頃から連絡を取り、ケアサービスの取り組みについて事業所の実情を伝え、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの職員が運営推進会議に参加され、相談・助言を頂きながら、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7 1F	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員で学び共通理解をするようにしています。身体的精神的拘束や抑制のないケアに取り組んでいます。日中玄関、窓は施錠していません。	マニュアルを作成し、身体拘束について外部研修や内部研修で全職員は正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関は施錠していない。	
7 2F	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員参加の院内研修で、身体拘束の内容とその弊害を再確認し、身体的、精神的拘束や抑制のないケアに取り組んでいる。日中、玄関の施錠はしていない。		
8 1F		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員で学び共通理解をするようにしています。		
8 2F		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修へ参加、院内研修で学び、共通理解をするようにしている。		
9 1F		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉事務所に相談できるよう支援しています。		
9 2F		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉事務所に相談できるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	1F	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を読み解りやすく説明しています。不安や、疑問にも充分理解が得られるよう話します。		
10	2F	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を読んで、分かりやすく説明している。不安や疑問を尋ね、充分な理解が得られるようにしている。		
11	1F	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さん、御家族が遠慮なく苦情、不満を職員に言えるような関係作りを心がけています。その内容については全職員が周知できるように申し送り、ケアに反映させています。第三者苦情機関を設置しています。	利用者、家族が相談や苦情を言いやすい雰囲気づくりに心がけている。面会時に担当する職員等が意見や要望を聞くように努めており、それらを運営に反映させている。相談、苦情の受付体制、第三者委員等明示し、処理手続きを定め周知している。	
11	2F	(7) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族の方が遠慮なく苦情や不満などを職員に言って頂けるような関係作りを心がけている。また、その内容については、職員全員が周知できるように申し送り、ケアに反映させている。第三者苦情機関を設置している。		
12	1F	(8) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常会話、月一回のミーティング、主任会議、理事長、統括管理者との面談などで意見交換や情報収集し反映させています。自己評価に意見を書いてもらい反映させています。	管理者は月1回の全員参加のミーティングで職員の意見を聞き、理事長、統括管理者は年1回の職員面接で意見や提案を聞く機会を設けており、意見や提案を運営に反映させている。	
12	2F	(8) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ全員参加のミーティング、主任会議、理事長、統括管理者との面談で意見交換し、反映させている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	1F	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価、自己管理シートを活用して1年間の目標をたて、各自目標にむかって努力し評価して管理者と面談を行っています。可能な限り勤務希望を受け入れリフレッシュできるよう調整しています。親睦会などを行い風通しのよい環境作りを心がけています。勤務時間をずらして残業を少なくするための取り組みも行っています。		
13	2F	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表、自己管理シートを活用し、1年間の目標をたて、目標にむかって努力している。各ユニットの入居者さんの状態に合わせた人員配置、残業を少なくするための取り組みも行っている。		
14	1F	(9) ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は年間テーマを決め毎月1回行っています。外部研修にも積極的に参加できるよう働きかけています。新職員の育成にはプリセプター方式を取り入れています。	内部研修は年間テーマを決め、毎月実施し、事例発表を研修に取り入れ、利用者への理解や介護力のスキルアップを図っている。外部研修は積極的に参加の機会を提供し、資格取得や働きながら学べるように支援している。新人職員の育成に、プリセプター方式を取り入れている。	
14	2F	(9) ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は、年間テーマを決め毎月1回行っている。外部研修には積極的に参加できるように働きかけている。新職員の育成には、プリセプター方式を取り入れている。年1回、外部講師を招いて研修を行っている。		
15	1F	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、他施設の職員と交流をもち、勉強会、講演会にも参加しています。新施設、他施設からの研修も受け入れています。		
15	2F	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、他施設の職員と交流を持ったり、勉強会、講演会などに参加している。他施設との交流実習も行った。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16	1F	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に事前訪問したり、体験入所をしてもらい信頼関係が築けるよう努力しています。センター方式を活用しながら、パーソンセンタードケアに努めるようにしています。		
16	2F	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に訪問したり、体験入所をもらい、ご本人やご家族から、心配事や困っている事を聞き、想いを受け止め、信頼関係を築けるように努めている。		
17	1F	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から施設見学をしていただき、利用後もよく話し合い、心配事や不安な事、疑問などを聴き、信頼関係が築けるように努めています。入所前より頻繁に面談し、十分にコミュニケーションを取るようになっています。		
17	2F	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から、施設見学をして頂き、利用後もよく話し合い、信頼関係が築けるように努めています。入所前より頻繁に面談し、コミュニケーションを取るようになっています。		
18	1F	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族と面談し、入居後出来るだけ一緒に過ごすことにより、意向を充分引き出せるように努め的確な支援の見極めに努めています。		
18	2F	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後できるだけ一緒にご家族と過ごして頂き、ご本人やご家族のお話を聞いて、何に困っているのか、何が必要なのか、意向を充分に引き出せるように努め、その人に合った対応を心がけている。		
19	1F	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の得意なこと(料理、家事)をしていたりスタッフも学びながらお互いに協力し助け合っているという関係を築いています。		
19	2F	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	何か作業をする時には、教えて頂く姿勢で接し、必ず感謝の気持ちを伝えるようにしている。お互い助け合う関係を大切にし、一緒にゆっくり楽しく生活している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	1F	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、ケアプラン説明時に御家族と相談しながらご本人を支えていける関係作りを心がけています。御家族の要望、意見を積極的に取り入れたり面会時には食事介助なども手伝っていただいています。		
20	2F	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話時、行事等でコミュニケーションの機会を設けている。ケアプランの立案時や、説明時などに、ご家族のご要望を聞き、相談しながら、本人さんを支えていける関係作りをしている。		
21	(10) 1F	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法事などにスタッフが同行し、御親戚の方と親交を深めたり、また来たいなど思っていたけるような対応を心がけています。	利用者が希望する身内の法事や孫の結婚式に職員が付き添い出席したり、馴染みの商店や美容院等にでかけるなど、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援に努めている。	
21	(10) 2F	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て頂いたときに、最近の本人さんの印象に残ったエピソードなどをお話させて頂くようしている。ご家族の方などに、「また来たい」と思ってもらえるような対応を心がけている。		
22	1F	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置を配慮し、気の合う入居者さん同士の時間を大切にしています。会話やレクリエーションがスムーズにいくようにスタッフが間に入り支援しています。		
22	2F	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を把握しており、孤立して寂しい思いをしないよう、また、トラブルで嫌な思いをする方がいないように、座る位置を工夫したり、スタッフが間にはいってフォローしている。		
23	1F	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、退院後の死亡時にはお通夜葬儀に参列させていただいています。		
23	2F	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退去になった方の、ご家族に出会った時にはその後のご本人の様子をお聞きしたり、また、亡くなられた時には、通夜、葬儀には必ず参列させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、1人1人の思いや希望を情報収集し、尊重し無理強いせず、思い思いにご本人のペースで過ごしていただいています。	アセスメント用紙の工夫やセンター方式を活用し、利用者一人ひとりの思いや希望、意向の把握をしている。困難な場合は家族に相談するなど、本人本位に検討している。	
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、情報収集に努め、1人1人の思いや希望を尊重し、思い思いに過ごして頂いている。		
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を取り入れ、ご本人や御家族からこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方などを伺い把握するように努めています。		
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族に、馴染みの暮らし方や生活歴を聞いたり、普段の会話の中から引き出せるように努めている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、ケア記録、伝達事項を利用し利用者さん1人1人の状態を把握するように努めています。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア記録や伝達事項を活用し、スタッフ同士で情報を共有し、無理のない様に過ごして頂けるよう、1人1人の生活リズムの把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	1F	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や御家族の意見、気持ちを取り入れながら、利用者さんの視点に立ってその人らしく暮らしていけるように担当者が立案し各職種参加のもとケアプラン会議を開催し意見交換をしています。6ヶ月を目安に見直しを行っています。	本人や家族の意見、担当者や主治医の意見を参考に全職員が参加するケア会議で話し合い、意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、6ヶ月で見直しをして、状況の変化に応じ、現状に即した介護計画を作成している。	
27	2F	(12) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や気持ちを取り入れながら、その人らしく暮らしていけるように介護計画を立案し、各職種参加のもと、ケアプラン会議を行い、意見交換を行っている。		
28	1F	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に実践、状態、反応、助言、スタッフの感じたこと、思ったことを記入し、申し送り、スタッフ間の密な情報交換でその後の支援やケアプランに活かしています。		
28	2F	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に日々の様子や状態・言動・気付き等を記入し、申し送りやスタッフ間の密な情報交換で、その後の援助やケアプランに活かしている。		
29	1F	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や医療の活用をしています。		
29	2F	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間医療連携による健康管理や医療の活用をしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	1F	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方に草引き、じゃが芋やさつま芋の苗の植え付けをさせていただいています。月に2度移動図書館の利用もあります。地元の美容院を利用しています。		
30	2F	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の美容院を利用したり、2週間に1回、市の移動図書館が回って図書貸し出しをして下さるので、自分で選んで借りることが出来ます。お隣のスーパーに、散歩がてら歩いてお買い物に出掛けています。		
31	(13) 1F	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望する医療機関を利用しています。当施設の看護師と密に連絡を取り合っています。受診時には医師に手紙で近況報告をしています。必要に応じてスタッフが付き添いをしています。	利用者や家族が希望するかかりつけ医を主治医とし、通院時には毎回、主治医宛に近況報告と問題点を記した手紙を添え受診の支援をしており、主治医との関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31	(13) 2F	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望する医療機関を利用している。受診時には、医師への手紙をお渡しし、近況報告をしている。必要に応じてスタッフも付き添って受診します。		
32	1F	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者さんの健康状態、薬の変更、急変に際し随時当施設の看護師に報告、相談しています。医療連携体制をとっており、協力病院、看護師と協力体制をとっています。		
32	2F	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、夜勤者が入居者さんの状況報告をする。また、細めに連絡を取り合っており、入居者さんが適切な受診や看護を受けられるように支援している。医療連携体制をとっており、協力病院、看護師と協力体制にあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	1F	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはご本人のストレスや負担を軽減するために介護要約を細かく記入し情報提供しています。入院中は看護師が病院関係者と連絡を取り合ったり本人の状態を観に行っています。		
33	2F	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人のストレスや負担を軽くする為に、サマリーを細かく記入し、情報提供をしている。入院中は、当施設の看護師や介護スタッフが本人の様子を見に行ったり、ご家族からの相談も受けている。		
34	1F	(14) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化指針について説明しており、重度化・終末期には医師・御家族・ご本人・スタッフとケアカンファレンスを開き方針を話し合い共有しています。終末期には看取りの同意書を交わしています。	ターミナルケアに対する用意があり、重度化や終末期について契約時に説明をしている。実際に重度化した場合には、利用者や家族、主治医、職員等関係者で話し合い、方針を共有している。当初はターミナルケアを不安に思っていた職員も、納得できる形で出来ることに誇りを感じており、関係者と共にチームで取り組んでいる。	
34	2F	(14) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化指針について説明しており、重度化・終末期は、医師・家族・本人・スタッフ等とケアカンファレンスを開き、方針を話し合い、本人にとって、より良い方法を考え、共有している。		
35	1F	(15) ○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故があった時は、ひやり・はつとや事故報告書を作成しスタッフ全員で共有し事故防止に努めています。院内研修や救命救急・避難訓練を実施し急変や事故発生時に備え、独自の事故防止マニュアルや事故発生時対応マニュアルを作成しています。	ヒヤリはつと報告書や事故報告書を基に分析し、原因や傾向を探り、事業所独自のマニュアルを作成している。急変や事故発生に備えて、一人ひとりの状況に応じた事故防止に取り組むとともに、職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	
35	2F	(15) ○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故などがあった場合は、ひやり・はつとや事故報告書を作成し、皆で共有し、独自の事故防止マニュアル・事故発生時マニュアルを閲覧し、事故防止に努めている。また、院内研修や避難訓練を実施し、急変や事故発生時に備え、日頃から話し合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、避難訓練を行っています。緊急連絡網の作成、運営推進会議で自治会長や近隣住民と災害訓練について話し合い院内研修で全職員に周知しています。風水害地震マニュアルを作成しています。運営推進会議の委員の方に訓練に参加していただきました。	年2回の消防訓練、夜間を想定した避難訓練を実施している。緊急連絡網を作成し、全職員は利用者が避難出来る方法を内部研修で身につけている。運営推進会議で災害訓練について話し合い、地域住民の参加、協力で災害対策訓練を行い、緊急通報システムは近隣住民に通報されるなど地域との協力体制を築いている。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、避難訓練を行っている。また、運営推進会議でも、委員の方に消防、避難訓練に参加して頂き、気づきや、意見交換を行った。院内研修でも全職員に周知している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんに応じて対応しています。トイレの声かけなどは小声でさり気なくプライバシーに配慮しています。入浴時はご本人の羞恥心に充分配慮しています。	マニュアルを作成し、研修を実施し一人ひとりの人格の尊重、プライバシーの確保について職員は理解しており、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレなどの誘導時は、小声でさり気なく声掛けをし、プライバシーに配慮している。入浴時は本人の羞恥心に充分配慮して行っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんが言われる思いや希望には出来るだけ応えられるようにしています。またご本人が答えやすいような言葉かけを心がけています。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんが分かりやすく、また、本人の意思が引き出せるような、答えやすい言葉かけをするように心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39	1F	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間やスタッフの仕事の都合ではなく利用者さんのやりたいことを体調に気を配りながら柔軟に対応しています。		
39	2F	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人1人、ご自分のペースで生活されている。本人の体調に合わせて、無理強いすることなく、柔軟に対応している。		
40	1F	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容利用の際にはご本人の好みや希望を聞いて毛染め、パーマなど個性を大切にしてもらっています。着替えの際は一緒に服を選んでいただいています。		
40	2F	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の服は自分で選んで着て頂けるように、声掛けや支援をしている。訪問美容院利用の時は、本人に希望する髪形にカットしてもらっている。		
41	1F	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒に考えていただいたり野菜の下ごしらえを手伝ってもらっています。おにぎり作っていただいたり、後片付けをスタッフと一緒にしています。	利用者の希望を聞きながら一緒に献立を作成し、三食とも事業所で食事作りをしている。買い物、下ごしらえ、調理や盛り付け、後片付けなど利用者のできることを一緒にして、職員も同じ食事をしながら食事を楽しむことが出来る支援をしている。年1回栄養士による栄養指導を受けている。	
41	2F	(18) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや、配膳、後片付け等、出来る方、好きな方にお手伝いして頂きながら一緒に行っている。また、献立にリクエストがあれば取り入れている。誕生日メニューやおやつなども、好みを取り入れ、楽しんで食べられる工夫をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	1F	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えスタッフが献立を立てています。管理栄養士さんにチェックしてもらっています。食事量を毎食記録しスタッフが情報を共有します。		
42	2F	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者さんの情報を把握し、糖尿病のある方、ムセのある方には、食事量の調整やトロミを使用するなど、1人1人にあつた支援を工夫している。水分摂取の少ない方には、嗜好に合った物で摂取を促している。		
43	1F	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけ介助をし口腔内の清潔に努めています。週1回義歯、ブラシの消毒をしています。		
43	2F	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け、介助し、口腔内の清潔に努めている。週1回、義歯消毒をしている。		
44	(19) 1F	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや習慣を把握しながら、それぞれトイレの声掛けや介助を行い、出来るだけトイレで排泄を促し、その方にとって快適でより良いケア方法を行えるように努めています。また時間帯や状況によりパットを使い分けています。	排泄表で一人ひとりの排泄パターン、習慣を把握し、声かけや誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44	(19) 2F	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや習慣を把握しながら、それぞれトイレの声掛けや介助を行い、出来るだけトイレで排泄を促し、その方にとって快適でより良いケア方法を行えるように努めている。また、時間帯や状況により、パットの種類を使い分けている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	1F	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無をチェックし便秘気味の利用者さんには「食物せんい」を飲んでいただいたり水分補給も行っています。		
45	2F	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分摂取が難しい場合については、本人の嗜好に合わせた物を提供したり、摂取しやすい形態にして提供するなどし、出来るだけ薬に頼らないように心がけている。イージーファイバーも利用している。		
46	(20) 1F	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できるよう準備しています。不穏状態などで拒否がある場合は無理強いせず気分を変えていただいたり時間をおいて再度誘ったりしています。入浴時の個別対応の時間を大切にしています。	入浴は10:30～17:00で一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように支援している。入浴を嫌がる利用者には言葉かけや対応を工夫し、個々に応じた入浴支援をしている。	
46	(20) 2F	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者さんの体調に合わせて、入浴されている。無理強いせず、希望やタイミングに合わせて入浴できるように支援している。状況により、足浴、全身清拭なども行っている。入浴時は、お話をしたり、個別対応の時間を大切にしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47	1F	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも眠そうな方には居室で休んでいたたり、夜間ベッドに横になれない方にはその都度臥床介助を行っています。不安の訴えには夜勤者が常にいることを伝え安心していただいています。		
47	2F	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転が起こらない程度に、休みたい時は休んでいただいている。また、夜間不眠が見られる方には、日中の活動を増やすなど、夜間良眠出来るように支援している。		
48	1F	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬している薬の効能、副作用などの内容がわかるようファイルしてあり薬の変更もすぐに分かるように申し送りをしています。		
48	2F	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用については、カルテにファイルし、把握している。服薬の支援と状況の変化の確認に努め、状況が変化した時は、医師や看護師に速やかに連絡し、支持を仰いでいる。		
49	(21) 1F	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯物たたみ、食器の片付け、掃除、レク、散歩、花や野菜作りなど1人1人に合わせた場面作りをし日々の暮らしの中で楽しみが出来るように工夫をしています。	裁縫や習字、ハーモニカ、交通安全週間に贈答するマスコットづくり、納涼祭のおみやげづくり、お地藏さんの花の水換えなど、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気分転換の支援をしている。	
49	(21) 2F	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯、食器の片付け、掃除、レク、読書、散歩、花の世話など、1人1人に合った場面作りをし、日々の暮らしの中で楽しみが出来るように工夫している。納涼祭に参加されるご家族へのお土産も、手作りの物で、張り合いにもなっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	玄関前で日光浴をしたり散歩に出たり、希望に沿って出かけたりしています。帰宅願望などがあれば付き添って外出し気分転換を図っています。	文化祭やお祭り、運動会等の地域の行事に出かけている。玄関前のお地藏さんにお参りし、花の交換や水替えをしたり、その日の希望に沿って、散歩や買い物等戸外に出かけられるよう支援している。春、秋の行事(花見や紅葉狩り)には家族と一緒に遠方に出かけられるよう支援している。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	玄関前で日光浴したり、散歩に出たりしている。また、スーパーへの買い物にも一緒に行っている。秋の外出では、ご家族、ボランティアの方と一緒に出かけた。		
51	1F	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員がお預かり金を管理しており外出するときはそこからご本人がお金を支払い買い物をされます。		
51	2F	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフがお預かり金を管理しており、外出する時はそこから本人がお金を支払い、買い物をされる。本人、ご家族の希望に応じて、お金を自分で持たれている方もいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	1F	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に応じて御家族や大切な人に電話でお話できるよう支援しています。御家族からの手紙からの手紙に返事を出されたり、ご本人から手紙を出したりされます。		
52	2F	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、家族や大切な方に電話でお話できるように、支援している。公衆電話の設置もあり。		
53	1F	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに畳コーナーを設置したり、ソファを置いたりして好きな場所でくつろげるよう配慮しています。周辺の風景が見渡せ明るく開放的。台所のカウンターには季節の花を活け対面キッチンで調理の様子や職員との会話もできます。	フロアは広く、周辺の風景が自然に目に入り、明るく、台所は対面式でご飯の炊ける匂いがして、季節の花が四方に活けてあり、生活感や季節感を感じることができる。リビングの畳の間でくつろいだり、ソファでテレビを観たり、思い思いに居心地良く過ごせるような工夫をしている。	
53	2F	(23) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに畳コーナーを設置したり、ソファを置いて、思い思いの場所で寛げるようにしている。ベランダには、花を植えたり、周辺の田園風景も見渡せ、明るく開放的。キッチン是对面で、調理の様子を見たり、一緒に作業が出来る。季節の飾り付けもしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	1F	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを分けたりソファや畳コーナー、北側スペースなど思い思いの場所ですごして頂けるようにしています。また入居者さん同士の関係にも気を配り、食事の席なども考えています。		
54	2F	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングだけではなく、それぞれの居室やソファ、北側スペースなど、思い思いの場所ですごせるようにしている。また、入居者同士の関係にも気を配り、食事の席なども考えている。		
55	1F	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のなじみの物や好みの物を持ってこられています。居室にご家族の写真を飾ったり使い慣れた日用品を使用し居心地の良い空間づくりを心がけています。	居室は洗面台が備え付けてあり、馴染みの箆笥、椅子、家族の写真、テレビが持ち込まれ、利用者が作った作品等を飾り付け、居心地よく生活できるように工夫をしている。	
55	2F	(24) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物や、好みの物を持ち込まれている方が殆んど。居室に家族との写真を飾ったり、使い慣れた日用品を使用し、利用者の居心地の良い空間作りを心がけている。		
56	1F	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、クッションフロアー、手すりの設置など。居室に表札を付けたり、「トイレ」の張り紙をしています。個人のたんすにもわかりやすく表示をし、自分で衣類を選べるよう支援しています。職員と一緒に整理をしています。		
56	2F	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、クッションフロアー、手すりの設置等。「トイレ」表示などをしたり、居室が分からなくなる方には大きく名前を表示したり、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫している。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームだんけぐーと

作成日: 平成 24年 4月 26日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	問題点は特にない。	コミュニケーションをとることで、入居者さん一人ひとりの思いや希望を聞きとり、その方にとってのよりよいケアにつなげたい。	ご本人やご家族とのコミュニケーションをしっかりとる。お話を傾聴する。	
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。